

品目	規格・単位	薬価	薬価基準収載医薬品コード	一般名	会社名*1	効能・効果	用法・用量*2	分類	規制	発売予定
<内用薬> グラクティブ錠12.5mg ジャヌビア錠12.5mg	12.5mg 1錠 12.5mg 1錠	73.20 73.20	3969010F4025 3969010F4033	シタグリブチン リン酸塩水和物	小野 MSD	2型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る ①食事療法、運動療法のみ ②食事療法、運動療法に加えてSGLT2阻害剤を使用 ③食事療法、運動療法に加えてTZD系薬剤を使用 ④食事療法、運動療法に加えてDPP-4系薬剤を使用 ⑤食事療法、運動療法に加えてα-グルコシダーゼ阻害剤を使用 ⑥食事療法、運動療法に加えてインスリン製剤を使用	成人にはシタグリブチンとして50mgを1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら100mg1日1回まで増量することができる。	3969	処方	11月29日 11月29日
コンプラビン配合錠	1錠	275.00	3399101F1021	カロピドゲレル 硫酸塩 ・アスピリン	サノフィ	経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される下記の虚血性心疾患 急性冠症候群(不安定狭心症、非ST上昇心筋梗塞、ST上昇心筋梗塞) 安定狭心症、陈旧性心筋梗塞	成人には、1日1回1錠(カロピドゲレルとして75mg及びアスピリンとして100mg)を経口投与する。	3399	処方	12月5日
ストラテラ内用液0.4%	0.4% 1mL	203.40	1179050S1022	アトモキセチン塩酸塩	日本 イライリ	注意欠陥/多動性障害(AD/HD)	【18歳未満の患者】18歳未満の患者には、アトモキセチンとして1日0.5mg/kg(0.125mL/kg)より開始し、その後1日0.8mg/kg(0.2mL/kg)とし、さらに1日1.2mg/kg(0.3mL/kg)まで増量した後、1日1.2~1.8mg/kg(0.3~0.45mL/kg)で維持する。 ただし、増量は1週間以上の間隔をあけて行うこととし、いずれの投与量においても1日2回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日量は1.8mg/kg(0.45mL/kg)又は120mg(30mL)のいずれか少ない量を超えないこと。 【18歳以上の患者】18歳以上の患者には、アトモキセチンとして1日40mg(10mL)より開始し、その後1日80mg(20mL)まで増量した後、1日80~120mg(20~30mL)で維持する。 ただし、1日80mg(20mL)までの増量は1週間以上、その後の増量は2週間以上の間隔をあけて行うこととし、いずれの投与量においても1日1回又は1日2回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、1日量は120mg(30mL)を超えないこと。	1179	劇 処方	11月29日
ビオプテン顆粒10%	10%1g 1包	35,875.00	3999012D2020	サプロピリン 塩酸塩	第一三共	1.ジヒドロピロピリン合成酵素欠損、ジヒドロピロピリン還元酵素欠損に基づく高フェニルアラニン血症(異型高フェニルアラニン血症)における血清フェニルアラニン値の低下 2.テトラヒドロピロピリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損に基づく高フェニルアラニン血症(テトラヒドロピロピリン反応性高フェニルアラニン血症)における血清フェニルアラニン値の低下	1.異型高フェニルアラニン血症: サプロピリン塩酸塩として1日2~5mg/kgを1~3回に分割経口投与するが、血清フェニルアラニン値が正常域に維持される用量をもって、有効維持量とする。 2.テトラヒドロピロピリン反応性高フェニルアラニン血症: サプロピリン塩酸塩として1日10mg/kg(1~3回に分割経口投与)から投与を開始し、臨床症状等の観察を行いながら、年齢に相応した血清フェニルアラニン値の目標値に維持される用量をもって、有効維持量とする。	3999	処方	11月29日
プリジスタナイーブ錠 800mg	800mg 1錠	1,843.80	6250030F3020	ダルナピレル エタノール付加物	ヤンセンファーマ	HIV感染症	成人にはダルナピレルとして1回800mgとリナピレル100mgをそれぞれ1日1回食事中又は食直後に併用投与する。投与に際しては、必ず他の抗HIV薬と併用すること。	625	劇 処方	11月29日
プレミネント配合錠HD	1錠	218.40	2149110F2020	ロサルタンカルシウム ・ヒドロクロチアジド	MSD	高血圧症	成人には1日1回1錠(ロサルタンカルシウム/ヒドロクロチアジド)として50mg/12.5mg又は100mg/12.5mg)を経口投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。	2149	処方	2014年 2月

品目	規格・単位	薬価	薬価基準収載 医薬品コード	一般名	会社名*1	効能・効果	用法・用量*2	分類	規制	発売予定
<注射薬> テリボン皮下注用 56.5μg	56.5μg 1瓶 (溶解液付)	12,971.00	2439401D2024	テリパチド 酢酸塩	旭化成ファーマ	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	成人には、テリパチドとして56.5μgを1週間に1回皮下注射する。なお、本剤の投与は72週間までとすること。	2439	処方	12月9日
ペガシス皮下注45μg	45μg0.5mL 1瓶	7,197.00	6399419A3025	ペグインターフェロン アルファ-2a (遺伝子組換え)	中外	1.リハビリンとの併用によるC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善 2. B型慢性活動性肝炎におけるウイルス血症の改善	詳細は添付文書をご覧ください。	6399	劇 処方	未定
ベネフィクス静注用 3000	3000国際単位 1瓶 (溶解液付)	307,305.00	6343438D4025	ナコクアルファ (遺伝子組換え)	ファイザー	血友病B(先天性血液凝固第IX因子欠乏症)患者における出血傾向の抑制	本剤は製剤に添付された溶解液を全量用いて溶解し、数分かけて緩徐に静脈内に注射する。初回用量は通常、本剤50国際単位/kgとするが、患者の状態に応じて適宜増減できる。また、次回以降は患者の状態、血液凝固第IX因子の上昇値〔(国際単位/dL)/(国際単位/kg)〕に応じて適宜増減する。	6343	生物 処方	12月9日
レギュニール HCa 1.5腹膜透析液	1L 1袋 (排液用バッグ付) 1.5L 1袋 (排液用バッグ付) 2L 1袋 (排液用バッグ付) 2.5L 1袋 5L 1袋	1,347.00 1,586.00 1,825.00 1,198.00 2,396.00	3420433A1024 3420433A2020 3420433A3027 3420433A4023 3420433A5020	腹膜透析液	バクター					未定
レギュニール HCa 2.5腹膜透析液	1L 1袋 (排液用バッグ付) 1.5L 1袋 (排液用バッグ付) 2L 1袋 (排液用バッグ付) 2.5L 1袋 5L 1袋	1,383.00 1,618.00 1,847.00 1,206.00 2,296.00	3420434A1029 3420434A2025 3420434A3021 3420434A4028 3420434A5024							
レギュニール HCa 4.25腹膜透析液	2L 1袋	1,073.00	3420435A1023							
レギュニール LCa 1.5腹膜透析液	1L 1袋 (排液用バッグ付) 1.5L 1袋 (排液用バッグ付) 2L 1袋 (排液用バッグ付) 2.5L 1袋 5L 1袋	1,357.00 1,601.00 1,845.00 1,223.00 2,446.00	3420436A1028 3420436A2024 3420436A3020 3420436A4027 3420436A5023							
レギュニール LCa 2.5腹膜透析液	1L 1袋 (排液用バッグ付) 1.5L 1袋 (排液用バッグ付) 2L 1袋 (排液用バッグ付) 2.5L 1袋 5L 1袋	1,383.00 1,640.00 1,897.00 1,288.00 2,575.00	3420437A1022 3420437A2029 3420437A3025 3420437A4021 3420437A5028							
レギュニール LCa 4.25腹膜透析液	2L 1袋	1,187.00	3420438A1027							

品目	規格・単位	薬価	薬価基準記載 医薬品コード	一般名	会社名*1	効能・効果	用法・用量*2	分類	規制	発売予定
<外用薬> オーキシス9 μ g タービュヘイラー 60吸入	540 μ g1キット (9 μ g)	3,496.60	2259711G2020	ホルモテロールフル酸塩 水和物	アストラセ [®] 衤 =MeijiSeika	慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺 気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸 症状の緩解	成人には1回1吸入(ホルモテロールフル酸塩水和 物として9 μ g)を1日2回吸入投与する。	2259	処方	11月29日

*1 会社名中、2社以上の表記については、前社が製造販売承認取得会社、後社は販売会社であることを示します(従来のハイフン表記は平成17年4月の改正薬事法施行を機に廃止しました)。

*2 一部省略してありますので詳細は添付文書等をご確認ください。